

みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

Information

介護支援スタッフ、
生活支援スタッフ募集中!

未経験者
歓迎

✉ sainyou@n-ikuseien.jp

📞 0595-65-0271 (担当: 西浦・川出)



vol.113
2021.5.1発行

発行: 社会福祉法人 名張育成会 広報委員会 〒518-0615 名張市美旗中村2326
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者: 市川知恵子 編集責任者: 宮田義則 編集長: 佐伯典昭 (株式会社サンエイ)
編集デザイン主任: 新井知子 (株式会社サンエイ) 領題: 千秋育子

自然も町も、みんなも大好き!

地域の豊かな資源を活かして個性に寄り添う、
放課後等デイサービス「ココロノイロ」

2020年4月、伊賀市大山田地区で6年間お世話になった、多機能事業所(児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援)「れいあろは※」の移転を受け、放課後等デイサービスの単独事業所としてオープンした「ココロノイロ」。この豊かな自然と歴史ある地域で育つ子どもたちの、安心して自分を出すことができる“居場所”として、一人ひとりの色を大切にしながら、日々の成長に寄り添っています。

※「れいあろは」は、伊賀市内初の児童発達支援の包括的な専門拠点「いが児童発達支援センターれいあろは」として2020年4月、伊賀市土橋178-1に移転し開設致しました。

「ココロノイロ」とは、「ココ(個々・此処)」、「ロノ(豊穣と平和の神)」、「イロ(彩り・色)」の造語で、子ども一人ひとりの色(イロ)を大切に、個々(ココ)の世界が豊に(ロノ)、此處(ココ)から社会が広がることを願って付けた事業所名です。伊賀市内で初めての児童発達支援センターとなった「れいあろは※」の遺伝子を受け継ぎ、地域で育つ子どもたちの個性に寄り添っています。

子どもの成長の栄養素は「遊び」と「経験」。伊賀盆地に広がる四季の移ろいに包まれ、古くから伝わる夏まつりや宿場町の名残を身近に感じる、自然と歴史という地域の豊かな資源を活かした活動プログラムで、子どもたちを育んでいます。



あせ道に咲いていた
タンポポ。
「大切にしようね！」

例えば、伊賀市大山田支所敷地内に位置する利点を活用し、近隣の図書室で本を読む、消防署と合同避難訓練を行うなど社会資源を活かしたり、スーパーマーケットでのお買い物や外食などの社会体験、事業所内では創作活動・感覚遊び・おやつ作りといった創造性のあるプログラムで、子どもの興味やその日の体調に合わせた「遊び」と「経験」を提供しています。



高学年児が、お兄ちゃん役の職員を相手にオセロで遊んでいます。実はこのオセロ、活動の一環として盤も駒もすべて子どもと一緒に作った手作り。駒はペットボトルのキャップなのですよ！



一人でマンガを描くのが大好き。これだけ公園が広いと、いつまでも、どこまでも好きなだけ絵が描けるね。



手あそびが始まると、お友だちを誘って自然に輪ができます。お姉さん役の職員に何度もおねだりし、リズムに合わせて繰り返していました。本当に楽しそう！



伊賀盆地を縫うように流れる伏部川。その河川敷に広がるせせらぎ運動公園で、小さい子も大きい子もいっしょになって、のびのびと身体を動かします。この辺りは、かつて古琵琶湖があったところで、琵琶湖のルーツとしてその痕跡が多く見られます。



ココロノイロから出ですぐの土手に咲く桜並木。このような彩りが町中のいたるところにあり、身近に四季の移ろいを感じることができます。

さて、ココロノイロに通う子ども達は近隣の学校に通い、地域で育ったお友だちばかり。ここは、子どもにとって家のように落ちつける、居心地のよい場所。高学年児が低学年児をリードするように遊んだり、同学齢どうしで一緒に本を読んだりと、家族のような集団の中で自然と人間関係を学んでいます。そんな「れいあろは※」時代から培っている信頼を基に、地域の期待に応えられるよう、これからも日々子どもたちに寄り添った支援を行います。（裏面に続く）

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート

検索

施設入所支援(成美)



お花見桜満開

入居者の生活支援を行っている成美は、名張育成会の敷地内にあります。敷地には桜の木がたくさんあり、とっても広いので、数名ずつ散歩がてらお花見をしました。ポカポカ陽気の中きれいな桜を見て、「春」を肌で感じてもらうことが出来て良かったです。来年こそは成美の皆さんで、そろってお花見出来るといいですね。

くらしサポート ゆっくる

グループホーム紹介「ききょうホーム」

16あるグループホームの内、男性4名が暮らす「ききょうホーム」を紹介します。このホームのいいところは、4人それぞれが互いに干渉せず、マイペースを守り生活しているところです。



例えばSさんの場合、朝3時に起床して1日が始まります。他の方の迷惑にならないようTVや雑誌を見て早朝を過ごした後7時に朝食を摂り、8時過ぎに日中の活動事業所に向かいます。休日は朝食後に居室の掃除をし、部屋を常にきれいに整頓しています。平日は17時前に活動事業所より戻り、まず入浴。夕食のあとは食後のコーヒーを飲まれます。このコーヒーは欠かせません!そして洗濯をして19時30分頃には就寝と、職員が寄り添い見守る中、一日のルーティンを大切に過ごされています。

このように、時間が穏やかに流れる素敵なホームです!

(表面より)

ココロノイロの周辺は、自然のみならず遙か昔から続く営みの息づかいが沁み込んでいます。子どもたちの暮らしの景色として慣れ親しんでいる史跡をご案内します。



ココロノイロから道路を隔てたところにある植木神社。三重県無形民俗文化財に指定されている「祇園祭」は、神輿を大胆に傾ける「くねり神輿」として古くより伝わり、今も毎年7月に執り行われています。

この植木神社の境内を鎮守する森には、樹齢数百年にもわたる樹が幾本も濃い影を落とし、神秘性を醸しています。でも、子どもにとっては絶好の遊び場。この二人は、樹木の生え際に祀られているお地蔵様を見つけ、向き合って手を合わせています。何を祈っているのでしょうか?

虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271

伊賀圏域障がい者就業・
生活支援センター ジョブサポートハオ

在職者交流会について



お仕事をされている方や、就職を目指される方で、対人コミュニケーション面の、不安や心配を少しでも小さくする手助けになればと考え、SST(社会技能訓練)を中心とした「コミュニケーションスキルアップ学習会」と、余暇活動を通して「在職者交流会」を4年前に立ち上げました。

それぞれ、現在の悩みや将来の希望を語り合える良いコミュニティーとなり、本人の自信や、職場定着や職業生活上の課題を解決する一助になっています。

今年度は新型コロナウィルスの感染状況を見ながら、可能な限り早い段階で開催をする予定です。参加ご希望の方は遠慮なく下記宛にご連絡下さい。ご相談の秘密は厳守します。

連絡先:0595-65-7710



植木神社を起点とする旧伊賀街道の平田宿跡を散歩していくと、ココロノイロ低学年児が卒園した保育園のお散歩に、偶然出合いました。「〇〇せんせい、こんなにちは~!!」「あつ、〇〇ちゃん! 元気そう!」「〇〇兄ちゃんだ~!」。

息づいた町、地域全体で子どもの成長を見守っている、そんな様子がよくわかりますね。

取材:広報委員会